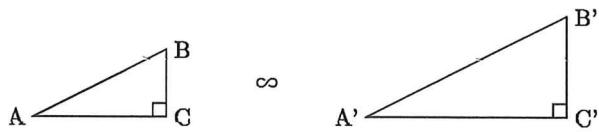


# 1 三角比

## 1.1 正弦・余弦・正接



2つの三角形が相似なとき、

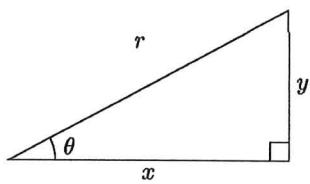
$$\frac{BC}{AB} = \frac{B'C'}{A'B'}, \quad \frac{AC}{AB} = \frac{A'C'}{A'B'}, \quad \frac{BC}{AC} = \frac{B'C'}{A'C'}$$

$\angle C = 90^\circ$  の直角三角形において、辺の比

$$\frac{BC}{AB}, \frac{AC}{AB}, \frac{BC}{AC}$$

の値は、 $\angle A$  の値のみによって決まる。

以上のことから …



上図のように、鋭角の1つを  $\theta$ 、各辺を  $x, y, r$  とする。  
先に見た通り、

$$\frac{y}{r}, \frac{x}{r}, \frac{y}{x}$$

の値は  $\theta$  の大きさのみで決まる。

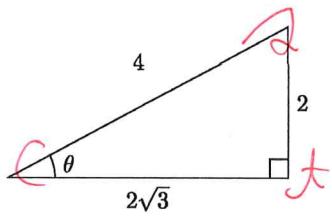
$\frac{y}{r} = \sin \theta$	正弦	
$\frac{x}{r} = \cos \theta$	余弦	
$\frac{y}{x} = \tan \theta$	正接	

\*左下に  $\theta$ 、右下に直角

## 問題

以下の図形の  $\sin \theta, \cos \theta, \tan \theta$  の値を求めよ。

(1)

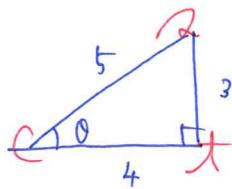
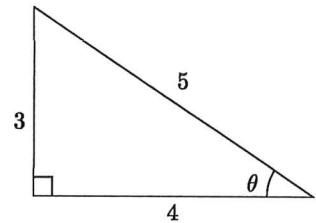


$$\sin \theta = \frac{2}{4} = \frac{1}{2}$$

$$\cos \theta = \frac{2\sqrt{3}}{4} = \frac{\sqrt{3}}{2}$$

$$\tan \theta = \frac{2}{2\sqrt{3}} = \frac{1}{\sqrt{3}}$$

(2)



$$\sin \theta = \frac{3}{5}$$

$$\cos \theta = \frac{4}{5}$$

$$\tan \theta = \frac{3}{4}$$

-----

## 1.2 三角比の表の利用

三角比の表を使ってみよう。

$\theta$	$\sin \theta$	$\cos \theta$	$\tan \theta$
0°	0.0000	1.0000	0.0000
1°	0.0175	0.9998	0.0175
2°	0.0349	0.9994	0.0349
3°	0.0523	0.9986	0.0524
4°	0.0698	0.9976	0.0699
5°	0.0872	0.9962	0.0875
6°	0.1045	0.9945	0.1051
7°	0.1219	0.9925	0.1228
8°	0.1392	0.9903	0.1405
9°	0.1564	0.9877	0.1584
10°	0.1736	0.9848	0.1763
⋮	⋮	⋮	⋮
45°	0.7071	0.7071	1.0000
46°	0.7193	0.6947	1.0355
47°	0.7314	0.6820	1.0724
48°	0.7431	0.6691	1.1106
49°	0.7547	0.6561	1.1504
⋮	⋮	⋮	⋮

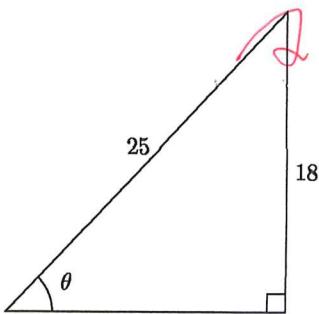
次の値を求めよ。

$$(1) \sin 6^\circ \approx 0.1045$$

$$(2) \cos 8^\circ \approx 0.9903$$

$$(3) \tan 10^\circ \approx 0.1763$$

以下の  $\theta$  のおおよその値を三角比を用いて求めよ。



$$\therefore \theta = \frac{18}{25} = \frac{18}{25} \times \frac{4}{4} = \frac{72}{100} = 0.72.$$

上の表から,  $\sin \theta \approx 0.72$  となるのは,  $46^\circ$  附近。

$$\therefore \theta \approx 46^\circ$$

## 問題

三角比の表を用いて以下の値を求めるよ。

$$(1) \sin 25^\circ$$

$$0.4226$$

$$(2) \cos 67^\circ$$

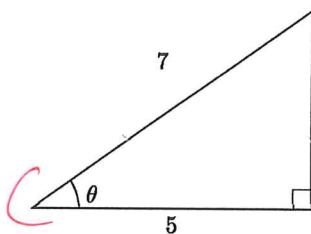
$$0.3907$$

$$(3) \tan 38^\circ$$

$$0.7813$$

以下の  $\theta$  のおおよその値を三角比を用いて求めよ。

$$(1)$$



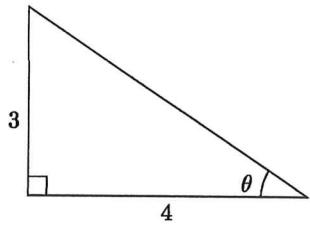
$$\cos \theta = \frac{5}{7}$$

$$\approx 0.714$$

$$\begin{array}{r} 0.714 \\ \hline 7 \\ \overline{49} \\ \quad \quad \quad 49 \\ \hline 10 \\ \quad \quad \quad 7 \\ \hline 28 \end{array}$$

$$\therefore \theta \approx 44^\circ$$

$$(2)$$



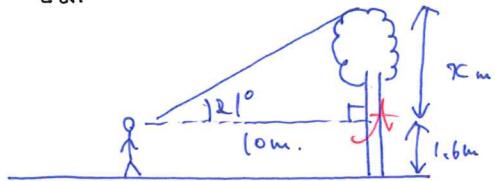
$$\begin{array}{l} \tan \theta = \frac{3}{4} \\ = 0.75. \end{array}$$

$$\therefore \theta \approx 37^\circ$$

### 1.3 三角比の活用

文章問題を解いてみよう。

- (1) 木の根本から水平に 10 m 離れた地点に立って木の先端を見上げると、水平面とのなす角が  $21^\circ$  であった。目の高さを 1.6 m として、木の高さを求めよ。ただし、小数第 2 位を四捨五入せよ。



$$\text{上図から, } \tan 21^\circ = \frac{x}{10}$$

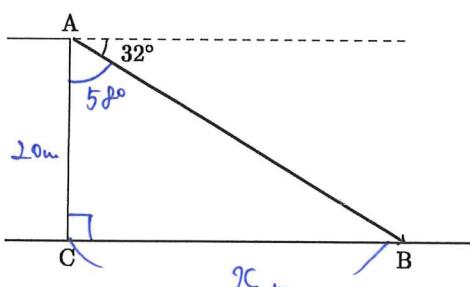
$$\begin{aligned} x &= 10 \times \tan 21^\circ \\ &= 10 \times 0.3839 \\ &= 3.839. \end{aligned}$$

$$\therefore \text{木の高さ} = 3.839 + 1.6$$

$$= 5.439$$

約 5.4 m

- (2) 地上からの高さ 20 m の地点 A で地上の場所 B を見下ろしたら、その角は下の図のように水平面に対して  $32^\circ$  であった。B は、A の真下の地点 C から何 m 離れているか。1m 未満を四捨五入して求めよ。



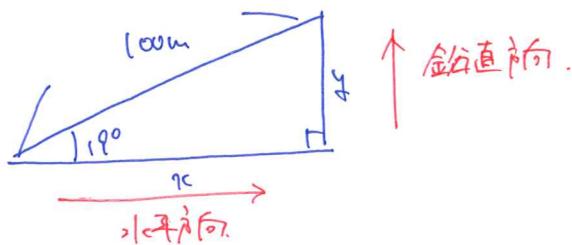
$$\frac{x}{20} = \tan 58^\circ$$

$$\begin{aligned} x &= 20 \times 1.6003 \\ &= 32.006 \end{aligned}$$

約 32 m

- (3) 傾斜角  $19^\circ$  の坂をまっすぐに 100 m 登る。このとき、以下の問い合わせに 1m 未満を四捨五入して答えよ。

- (a) 鉛直方向には何 m 上がることになるか。



$$\frac{y}{100} = \sin 19^\circ$$

$$\begin{aligned} \therefore y &= 100 \times 0.3256 \\ &= 32.56 \end{aligned}$$

- (b) 水平方向には何 m 進ことになるか。

$$\cos 19^\circ = \frac{x}{100}$$

$$x = 100 \times \cos 19^\circ$$

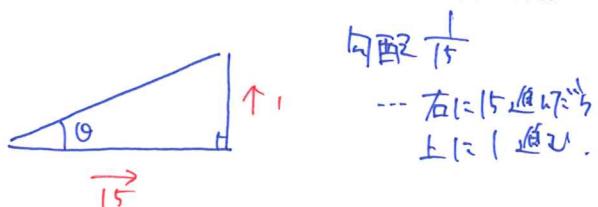
$$= 100 \times 0.9455$$

$$= 94.55$$

約 95 m

- (4) 車椅子用に屋外に設置するスロープについて、その勾配は  $\frac{1}{15}$  以下にするという基準がある。

スロープの基準を  $1^\circ$  単位で設定する場合、この基準を満たすには、傾斜角は何度以下にしなければならないか。ここで、勾配とは、水平方向に 1 進ときに鉛直方向に上がる高さを表す。



$\tan \theta \leq \frac{1}{15}$  以下 ( $\approx 3^\circ$  以下)

$$\frac{1}{15} = 0.066\ldots$$

$$\tan \theta \leq 0.066\ldots \text{以下}$$

3° 以下

## 2 三角比の相互関係

### 2.1 三角比の相互関係

相互関係

$$(1) \tan \theta = \frac{\sin \theta}{\cos \theta}$$

$$(2) \sin^2 \theta + \cos^2 \theta = 1$$

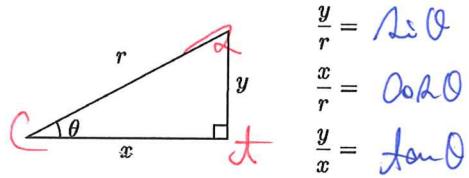
$$(3) 1 + \tan^2 \theta = \frac{1}{\cos^2 \theta}$$

証明しよう。

<proof>

(1)について

三角比の定義から,



なので,

$$x = r \cos \theta, y = r \sin \theta \quad \dots (*)$$

$$\therefore \tan \theta = \frac{r \sin \theta}{r \cos \theta} = \frac{\sin \theta}{\cos \theta} \quad \rightarrow (1)$$

(2)について

上図の三角形において、三平方の定理より、

$$x^2 + y^2 = r^2$$

この式に (\*) 代入して

$$(r \cos \theta)^2 + (r \sin \theta)^2 = r^2$$

$$\therefore \sin^2 \theta + \cos^2 \theta = 1 \quad \rightarrow (2)$$

(3)について

(2) の式の辺々を  $\cos^2 \theta$  で割ると、

$$\frac{\sin^2 \theta}{\cos^2 \theta} + 1 = \frac{1}{\cos^2 \theta}$$

ここで (1) より  $\tan \theta = \frac{\sin \theta}{\cos \theta}$  なので、

$$\tan^2 \theta + 1 = \frac{1}{\cos^2 \theta}$$

$\therefore (\cos \theta)^2 \neq 0$

$\cos^2 \theta < 1$ .

相互関係を用いて、1つの三角比から他の三角比を求めてみよう。

(1)  $\theta$  は鋭角とする。  $\sin \theta = \frac{2}{3}$  のとき、 $\cos \theta, \tan \theta$  の値を求めよ。

<Ans>

$$\sin^2 \theta + \cos^2 \theta = 1 \text{ から,}$$

$$\cos^2 \theta = 1 - \sin^2 \theta$$

$$= 1 - \frac{4}{9} = \frac{5}{9}$$

ここで、 $0^\circ < \theta < 90^\circ$  なので、

$$\cos \theta = \frac{\sqrt{5}}{3}$$

また、 $\tan \theta = \frac{\sin \theta}{\cos \theta}$  から、

$$\tan \theta = \frac{\frac{2}{3}}{\frac{\sqrt{5}}{3}} = \frac{2}{\sqrt{5}}$$

(2)  $\theta$  は鋭角とする。  $\cos \theta = \frac{1}{3}$  のとき、 $\cos \theta, \tan \theta$  の値を求めよ。

$$\sin^2 \theta + \cos^2 \theta = 1$$

$$\sin^2 \theta = \frac{8}{9}$$

$0^\circ < \theta < 90^\circ \therefore \sin \theta > 0$

$$\therefore \sin \theta = \frac{2\sqrt{2}}{3}$$

$$\tan \theta = \frac{\sin \theta}{\cos \theta} \quad \therefore$$

$$\tan \theta = 2\sqrt{2}$$

(3)  $\theta$  は鋭角とする。  $\tan \theta = 2$  のとき、 $\cos \theta, \tan \theta$  の値を求めよ。

$$1 + \tan^2 \theta = \frac{1}{\cos^2 \theta} \quad \therefore$$

$$1 + 4 = \frac{1}{\cos^2 \theta}$$

$$\cos^2 \theta = \frac{1}{5}$$

$0^\circ < \theta < 90^\circ \therefore \cos \theta > 0$

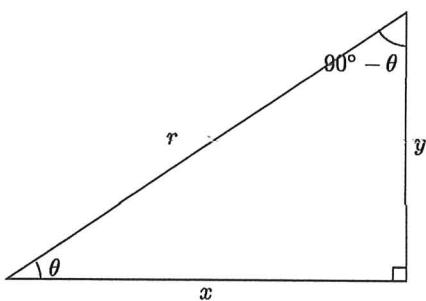
$$\therefore \cos \theta = \frac{1}{\sqrt{5}}$$

$$\tan \theta = \frac{\sin \theta}{\cos \theta} \quad \therefore$$

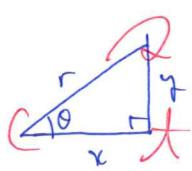
$$\begin{aligned} \sin \theta &= +\sin \theta \cdot \cos \theta \\ &= 2 \cdot \frac{1}{\sqrt{5}} \end{aligned}$$

$$\therefore \sin \theta = \frac{2}{\sqrt{5}}$$

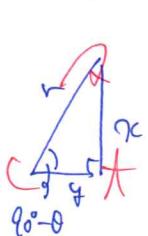
## 2.2 $90^\circ - \theta$ の三角比



上の図から、



また、



$$\sin \theta = \frac{y}{r}$$

$$\cos \theta = \frac{x}{r}$$

$$\tan \theta = \frac{y}{x}$$

$$\sin(90^\circ - \theta) = \frac{x}{r}$$

$$\cos(90^\circ - \theta) = \frac{y}{r}$$

$$\tan(90^\circ - \theta) = \frac{x}{y}$$

よって、 $90^\circ - \theta$  の三角比は、 $\theta$  の三角比を用いて以下のように表すことができる。

$90^\circ - \theta$  の三角比

$$\sin(90^\circ - \theta) = \cos \theta$$

$$\cos(90^\circ - \theta) = \sin \theta$$

$$\tan(90^\circ - \theta) = \frac{1}{\tan \theta}$$

この関係式を用いて、ある三角比を別の角の三角比で表してみよう。  $72^\circ = 90^\circ - 18^\circ$

$$(1) \sin 53^\circ = \cos 37^\circ$$

$$(2) \cos 86^\circ = \sin 4^\circ$$

$$(3) \tan 43^\circ = \frac{1}{\tan 47^\circ}$$

本当に成り立っているのかを三角比の表で確認してみよう。

以下の( )に適する鋭角の角度を入れよ。

$$(1) \sin 64^\circ = \cos( \underline{26^\circ} )$$

$$(2) \cos 34^\circ = \sin( \underline{56^\circ} )$$

$$(3) \tan 29^\circ = \frac{1}{\tan( \underline{61^\circ} )}$$

以下の三角比を  $45^\circ$  以下の三角比で表せ。

$$(1) \sin 59^\circ$$

$$= \cos 31^\circ$$

$$(2) \cos 78^\circ$$

$$= \sin 12^\circ$$

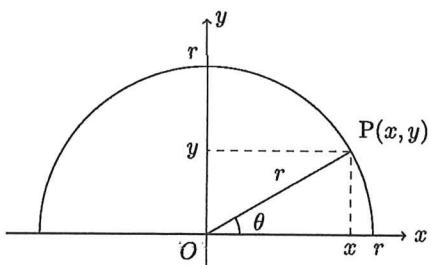
$$(3) \tan 81^\circ$$

$$= \frac{1}{\tan 9^\circ}$$

### 3 三角比の拡張

#### 3.1 $0^\circ \leq \theta \leq 180^\circ$ への拡張

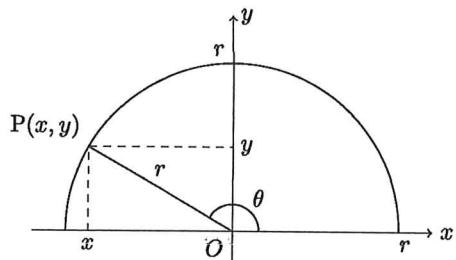
鋭角でしか考えることができなかつた三角比を、鋭角以外でも考えることのできるように拡張しよう。



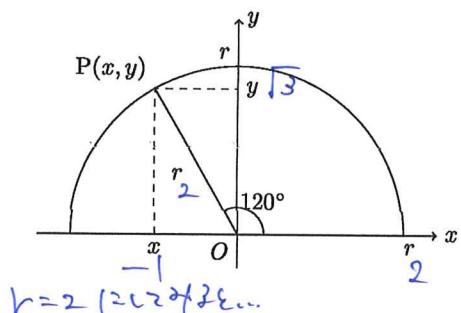
半径  $r$  上の円上の点を  $P(x, y)$  とする。 $x$  軸の正の向きと  $OP$  のなす角を  $\theta$  とし、三角比を以下のように定義。

$$\sin \theta = \frac{y}{r}, \cos \theta = \frac{x}{r}, \tan \theta = \frac{y}{x}$$

座標で定義することで、 $0^\circ \leq \theta \leq 180^\circ$  での三角比を定義できる。



この定義を用いて、 $120^\circ$  の三角比を求めてみよう。



$$(1) \sin 120^\circ$$

$$= \frac{y}{r} = \frac{\sqrt{3}}{2}$$

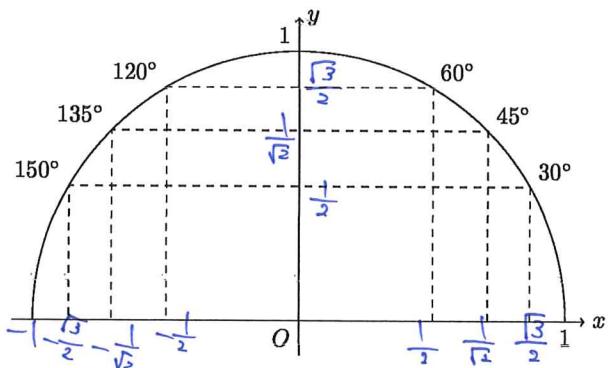
$$(2) \cos 120^\circ$$

$$= \frac{x}{r} = \frac{-1}{2} = -\frac{1}{2}$$

$$(3) \tan 120^\circ$$

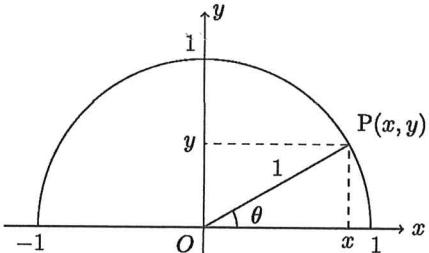
$$= \frac{y}{x} = \frac{\sqrt{3}}{-1} = -\sqrt{3}$$

三角比の値は、三角形の大きさ（円の半径の大きさ）に依らず決まるので、 $r = 1$  として考えることが多い。（これを単位円という）単位円を用いて、下の表を埋めてみよう。



$\theta$	$0^\circ$	$30^\circ$	$45^\circ$	$60^\circ$	$90^\circ$	$120^\circ$	$135^\circ$	$150^\circ$	$180^\circ$
$\sin \theta$	0	$\frac{1}{2}$	$\frac{1}{\sqrt{2}}$	$\frac{\sqrt{3}}{2}$	1	$\frac{\sqrt{3}}{2}$	$\frac{1}{\sqrt{2}}$	$\frac{1}{2}$	0
$\cos \theta$	1	$\frac{\sqrt{3}}{2}$	$\frac{1}{\sqrt{2}}$	$\frac{1}{2}$	0	$-\frac{1}{2}$	$-\frac{1}{\sqrt{2}}$	$-\frac{\sqrt{3}}{2}$	-1
$\tan \theta$	0	$\frac{1}{\sqrt{3}}$	1	$\sqrt{3}$	/	$-\sqrt{3}$	-1	$-\frac{1}{\sqrt{3}}$	0

三角比についてまとめてみる。



単位円で考えると、点  $P$  の座標  $(x, y)$  は

$$x = \cos \theta, y = \sin \theta$$

また、点  $P$  は半円上にあることから、

$$0 \leq y \leq 1, -1 \leq x \leq 1$$

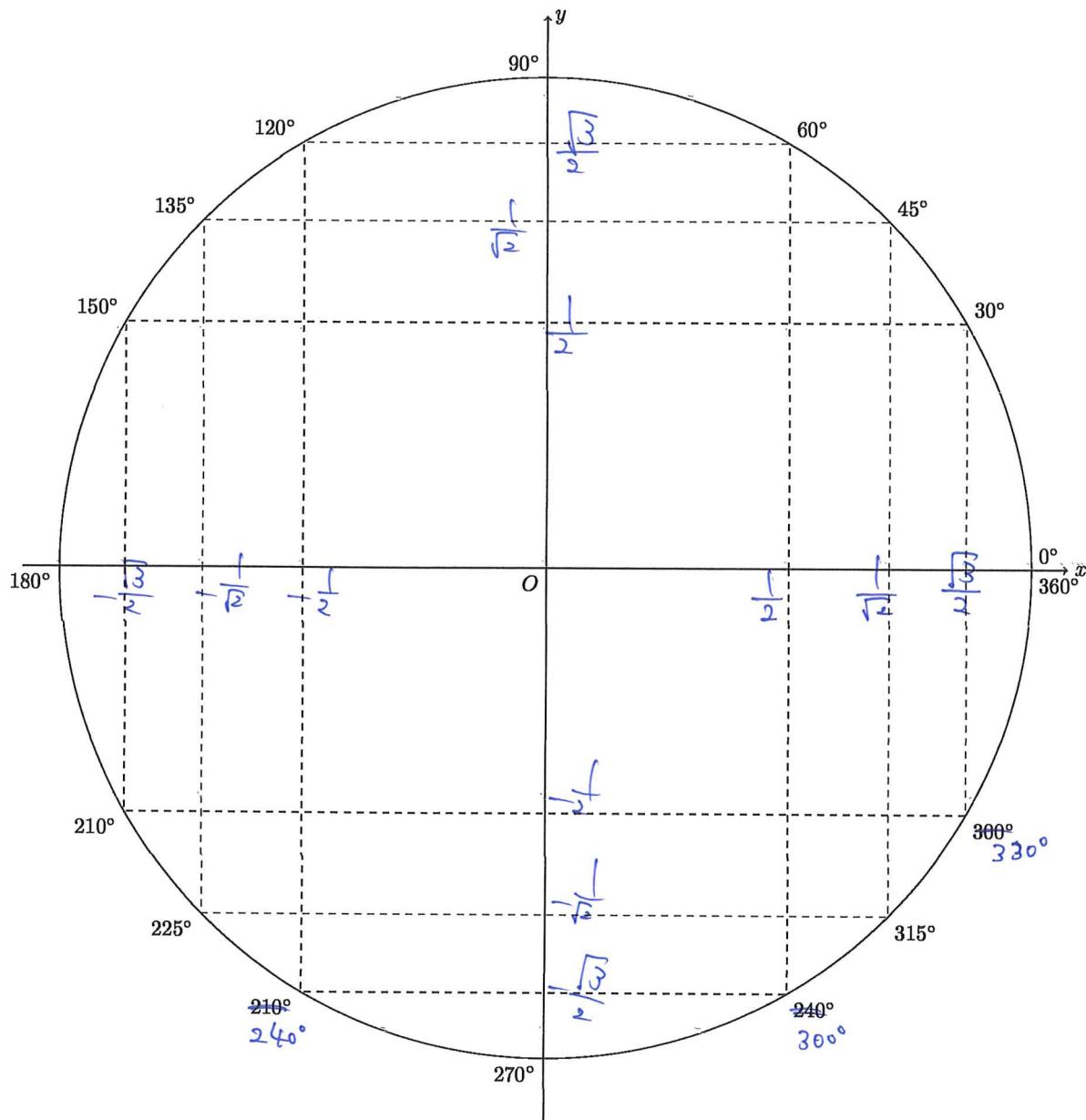
なので、 $0^\circ \leq \theta \leq 180^\circ$  において、

$$0 \leq \sin \theta \leq 1, -1 \leq \cos \theta \leq 1$$

$$\tan \theta = \frac{y}{x} \text{ なので, } \tan \theta \text{ は直線 } OP \text{ の傾き}$$

### 3.2 更なる拡張 (+ $\alpha$ )

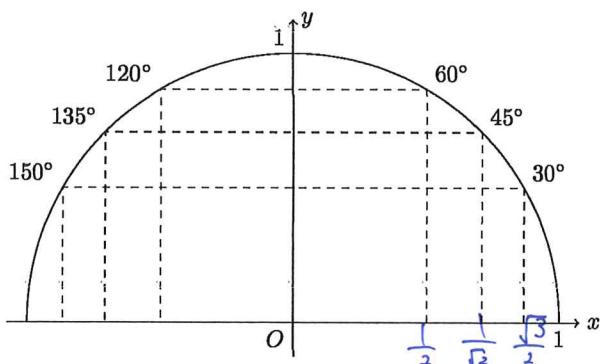
同様にして  $360^\circ$  まで拡張することもできる。単位円で考えてみよう。



$\theta$	$0^\circ$	$30^\circ$	$45^\circ$	$60^\circ$	$90^\circ$	$120^\circ$	$135^\circ$	$150^\circ$	$180^\circ$	$210^\circ$	$225^\circ$	$240^\circ$	$270^\circ$	$300^\circ$	$315^\circ$	$330^\circ$
$\sin \theta$	0	$\frac{1}{2}$	$\frac{1}{\sqrt{2}}$	$\frac{\sqrt{3}}{2}$	1	$\frac{\sqrt{3}}{2}$	$\frac{1}{\sqrt{2}}$	$\frac{1}{2}$	0	$-\frac{1}{2}$	$-\frac{1}{\sqrt{2}}$	$-\frac{\sqrt{3}}{2}$	-1	$-\frac{\sqrt{3}}{2}$	$-\frac{1}{\sqrt{2}}$	$-\frac{1}{2}$
$\cos \theta$	1	$\frac{\sqrt{3}}{2}$	$\frac{1}{\sqrt{2}}$	$\frac{1}{2}$	0	$-\frac{1}{2}$	$-\frac{1}{\sqrt{2}}$	$-\frac{\sqrt{3}}{2}$	-1	$-\frac{\sqrt{3}}{2}$	$-\frac{1}{\sqrt{2}}$	$-\frac{1}{2}$	0	$\frac{1}{2}$	$\frac{1}{\sqrt{2}}$	$\frac{\sqrt{3}}{2}$
$\tan \theta$	0	$\frac{1}{\sqrt{3}}$	1	$\sqrt{3}$	/	$-\sqrt{3}$	-1	$-\frac{1}{\sqrt{3}}$	0	$\frac{1}{\sqrt{3}}$	1	$\sqrt{3}$	/	$-\sqrt{3}$	-1	$-\frac{1}{\sqrt{3}}$

### 3.3 $180^\circ - \theta$ の三角比

復習



以下の三角比を鋭角の三角比で表せ.

$$(1) \sin 124^\circ = \sin 56^\circ$$

$$(2) \cos 134^\circ = -\cos 46^\circ$$

$$(3) \tan 157^\circ = -\tan 23^\circ$$

$\theta$	$0^\circ$	$30^\circ$	$45^\circ$	$60^\circ$	$90^\circ$	$120^\circ$	$135^\circ$	$150^\circ$	$180^\circ$
$\sin \theta$	0	$\frac{1}{2}$	$\frac{1}{\sqrt{2}}$	$\frac{\sqrt{3}}{2}$	1	$\frac{\sqrt{3}}{2}$	$\frac{1}{\sqrt{2}}$	$\frac{1}{2}$	0
$\cos \theta$	1	$\frac{\sqrt{3}}{2}$	$\frac{1}{\sqrt{2}}$	$\frac{1}{2}$	0	$-\frac{1}{2}$	$-\frac{1}{\sqrt{2}}$	$-\frac{\sqrt{3}}{2}$	-1
$\tan \theta$	0	$\frac{1}{\sqrt{3}}$	1	$\sqrt{3}$	/	$-\sqrt{3}$	-1	$-\frac{1}{\sqrt{3}}$	0

90°を境に、異符号.

上の表から天下り的に性質を見つけよう.

$180^\circ - \theta$  の三角比

$$\sin(180^\circ - \theta) = \sin \theta$$

$$\cos(180^\circ - \theta) = -\cos \theta$$

$$\tan(180^\circ - \theta) = -\tan \theta$$

$$(1) \sin 159^\circ = \sin 21^\circ$$

$$= 0,3524$$

$$(2) \cos 178^\circ = -\cos 2^\circ$$

$$= -0,9994$$

$$(3) \tan 151^\circ = -\tan 29^\circ$$

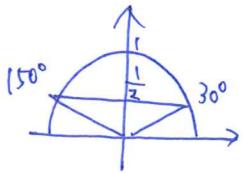
$$= -0,5543$$

## 単位円と直角| | | --- | | 1 |

### 3.4 三角比の等式

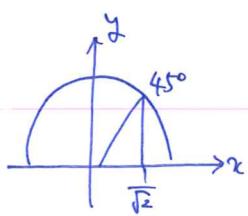
$0^\circ \leq \theta \leq 180^\circ$  のとき、次の等式を満たす  $\theta$  の値を求めよ。

$$(1) \sin \theta = \frac{1}{2}$$



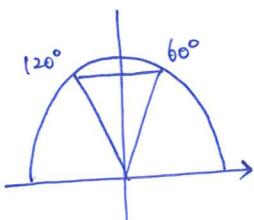
左図から  
 $\theta = 30^\circ, 150^\circ$

$$(2) \cos \theta = \frac{1}{\sqrt{2}}$$



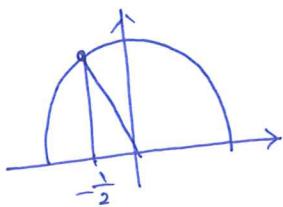
左図から  
 $45^\circ$

$$(3) \sin \theta = \frac{\sqrt{3}}{2}$$



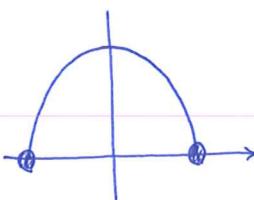
左図から  
 $\theta = 60^\circ, 120^\circ$

$$(4) \cos \theta = -\frac{1}{2}$$



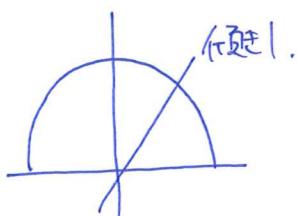
左図から  
 $\theta = 120^\circ$

$$(5) \sin \theta = 0$$



$\frac{1}{\sqrt{2}} > 0$ .  
∴ 左図から  
 $\theta = 0^\circ, 180^\circ$

$$(6) \tan \theta = 1$$



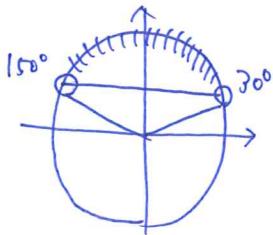
左図から  
 $\theta = 45^\circ$

# 単位円で!!

## 3.5 三角比の不等式

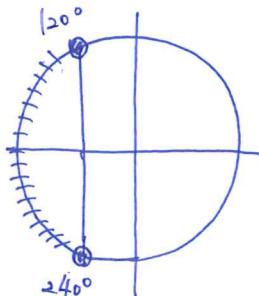
$0^\circ \leq \theta < 360^\circ$  のとき、次の等式を満たす  $\theta$  の値の範囲を求めよ。

$$(1) \sin \theta > \frac{1}{2}$$



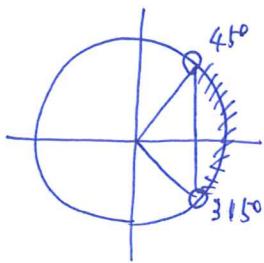
左図より  
 $30^\circ < \theta < 150^\circ$

$$(4) \cos \theta \leq -\frac{1}{2}$$



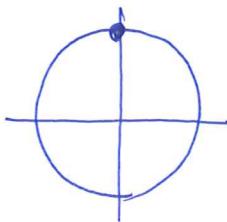
左図より  
 $120^\circ \leq \theta \leq 240^\circ$

$$(2) \cos \theta > \frac{1}{\sqrt{2}}$$



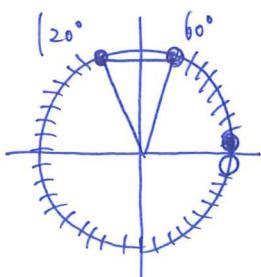
左図より  
 $0^\circ \leq \theta < 45^\circ,$   
 $315^\circ < \theta < 360^\circ$

$$(5) \sin \theta \geq 1$$



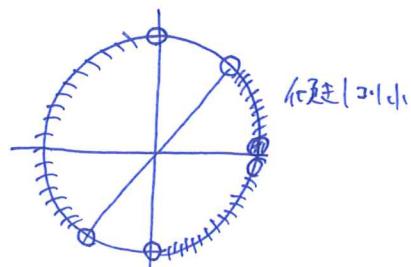
左図より  
 $\theta = 90^\circ$

$$(3) \sin \theta \leq \frac{\sqrt{3}}{2}$$



左図より  
 $0^\circ \leq \theta \leq 60^\circ,$   
 $120^\circ \leq \theta < 360^\circ$

$$(6) \tan \theta < 1$$

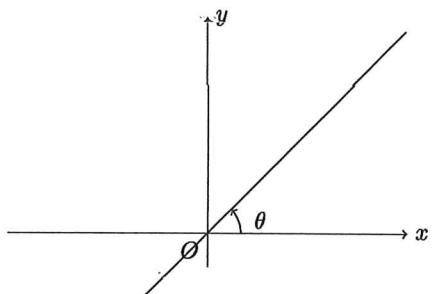


左図より  
 $0^\circ \leq \theta < 45^\circ,$   
 $90^\circ < \theta < 240^\circ,$   
 $270^\circ < \theta < 360^\circ$

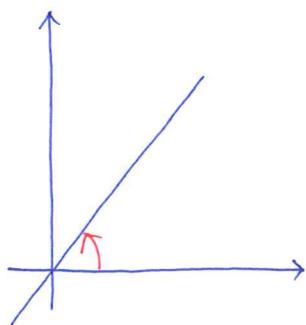
### 3.6 直線の傾きと $\tan \theta$

$$\star 0^\circ \leq \theta \leq 180^\circ \text{ のとき.}$$

下の図のように、 $x$  軸の正の部分から、反時計回りに直線まで測った角度を直線と  $x$  軸の正の向きとのなす角という。

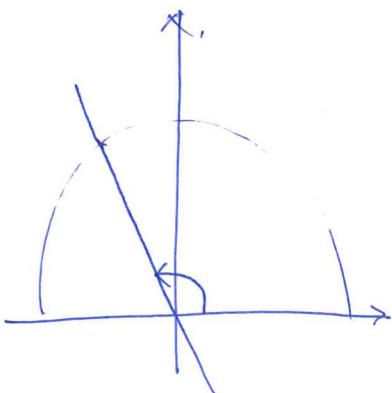


(1) 直線  $y = x$  と  $x$  軸の正の向きとのなす角を求めよ。



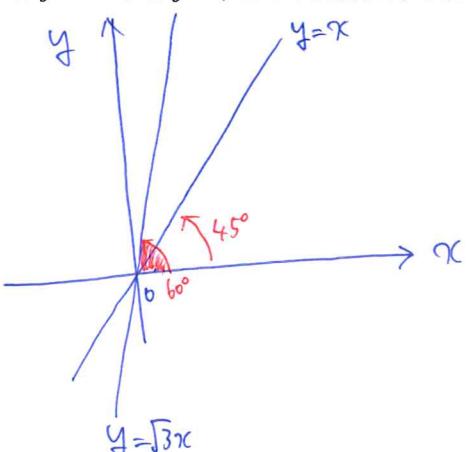
$$\underline{45^\circ}$$

(2) 直線  $y = -\sqrt{3}x$  と  $x$  軸の正の向きとのなす角を求めよ。



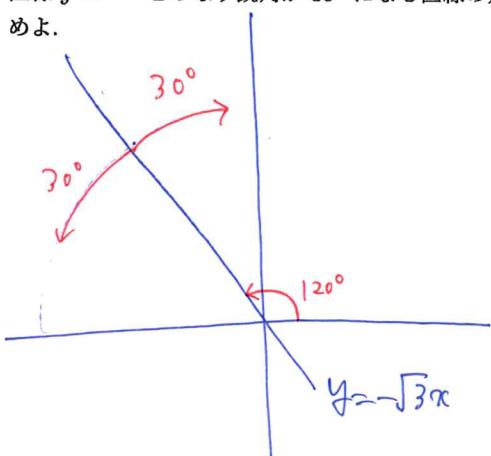
$$\underline{120^\circ}$$

(3) 直線  $y = x$  と直線  $y = \sqrt{3}x$  のなす鋭角を求めよ。



$$\text{上図から, } 60^\circ - 45^\circ = \underline{15^\circ}$$

(4) 直線  $y = -\sqrt{3}x$  とのなす鋭角が  $30^\circ$  になる直線の方程式を求めよ。



上図から,

$$x=0, \quad y=-\frac{1}{\sqrt{3}}x \quad \underline{\underline{}}$$

### 3.7 相互関係

復習

相互関係

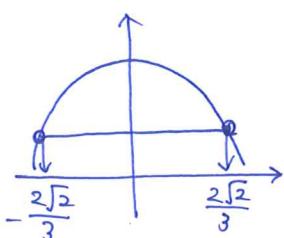
$$(1) \tan \theta = \frac{\sin \theta}{\cos \theta}$$

$$(2) \sin^2 \theta + \cos^2 \theta = 1.$$

$$(3) 1 + \tan^2 \theta = \frac{1}{\cos^2 \theta}$$

$0^\circ \leq \theta \leq 180^\circ$  とする。  $\sin \theta, \cos \theta, \tan \theta$  のうち、1つが次の値をとるとき、他の2つの値を求めよ。

$$(1) \sin \theta = \frac{1}{3}$$



$$\begin{aligned} \sin^2 \theta + \cos^2 \theta &= 1 \quad | \cdot \\ \cos^2 \theta &= \frac{8}{9} \\ \cos \theta &= \pm \frac{2\sqrt{2}}{3} \end{aligned}$$

$$\tan \theta = \frac{\sin \theta}{\cos \theta} \quad | \cdot$$

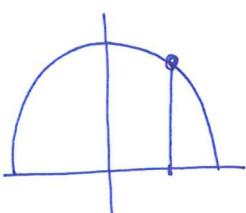
$$\text{(i) } \cos \theta = \frac{2\sqrt{2}}{3} \quad \text{arc}\theta$$

$$\tan \theta = \frac{1}{2\sqrt{2}}$$

$$\text{(ii) } \cos \theta = -\frac{2\sqrt{2}}{3} \quad \text{arc}\theta$$

$$\tan \theta = -\frac{1}{2\sqrt{2}}$$

$$(2) \cos \theta = \frac{3}{5}$$



$$\sin^2 \theta + \cos^2 \theta = 1 \quad | \cdot$$

$$\sin^2 \theta = \frac{16}{25}$$

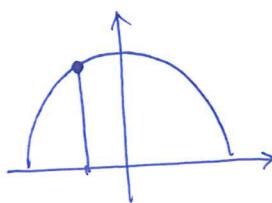
$$\text{左図} \Rightarrow \cos \theta > 0 \quad | \cdot$$

$$\sin \theta = \frac{4}{5} \quad | \cdot$$

$$\tan \theta = \frac{\sin \theta}{\cos \theta} \quad | \cdot$$

$$\tan \theta = \frac{4}{3} \quad | \cdot$$

$$(3) \cos \theta = -\frac{1}{3}$$



$$\sin^2 \theta + \cos^2 \theta = 1 \quad | \cdot$$

$$\sin^2 \theta = \frac{8}{9}$$

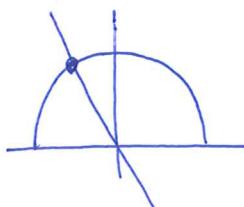
$$\text{左図} \Rightarrow \sin \theta > 0$$

$$\therefore \cos \theta = \frac{-2\sqrt{2}}{3} \quad | \cdot$$

$$\tan \theta = \frac{\sin \theta}{\cos \theta} \quad | \cdot$$

$$\tan \theta = -2\sqrt{2} \quad | \cdot$$

$$(4) \tan \theta = -2$$



$$1 + \tan^2 \theta = \frac{1}{\cos^2 \theta} \quad | \cdot$$

$$1 + 4 = \frac{1}{\cos^2 \theta}$$

$$\cos^2 \theta = \frac{1}{5}$$

$$\text{左図} \Rightarrow \cos \theta < 0$$

$$\therefore \cos \theta = -\frac{1}{\sqrt{5}} \quad | \cdot$$

$$\text{左図, } \tan \theta = \frac{\sin \theta}{\cos \theta}$$

$$\begin{aligned} \sin \theta &= \tan \theta \cdot \cos \theta \\ &= -2 \cdot -\frac{1}{\sqrt{5}} \end{aligned}$$

$$\therefore \sin \theta = \frac{2}{\sqrt{5}} \quad | \cdot$$

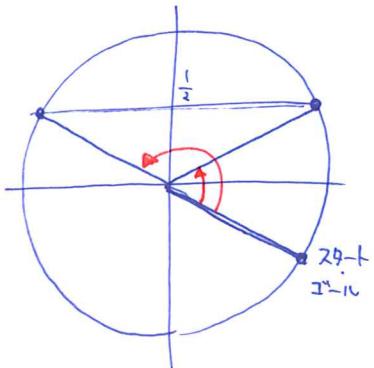
1回み

30°進むより左の地点から(回り)

### 3.8 始点のズレた三角比の方程式

$0^\circ \leq \theta < 360^\circ$  のとき, 以下の方程式, 不等式を解け.

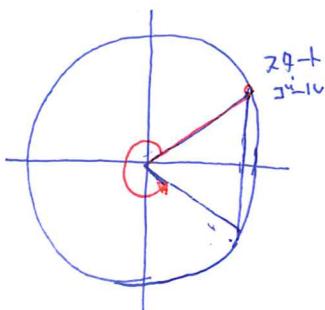
$$(1) \sin(\theta - 30^\circ) = \frac{1}{2}$$



左図から

$$\theta = 60^\circ, 180^\circ$$

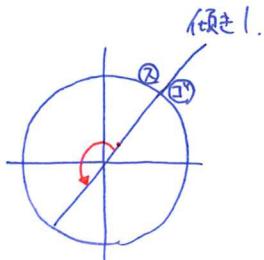
$$(2) \cos(\theta + 30^\circ) = \frac{\sqrt{3}}{2}$$



左図から

$$\theta = 0^\circ, 360^\circ$$

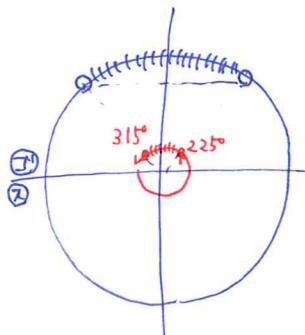
$$(3) \tan(\theta + 45^\circ) = 1$$



左図から

$$\theta = 0^\circ, 180^\circ$$

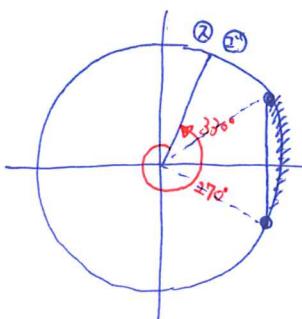
$$(4) \sin(\theta - 180^\circ) > \frac{1}{\sqrt{2}}$$



左図から

$$225^\circ < \theta < 315^\circ$$

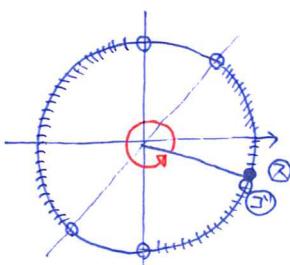
$$(5) \cos(\theta + 60^\circ) \geq \frac{\sqrt{3}}{2}$$



左図から

$$270^\circ \leq \theta \leq 330^\circ$$

$$(6) \tan(\theta - 30^\circ) < 1$$



左図から

$$0^\circ \leq \theta < 75^\circ, \\ 120^\circ < \theta < 255^\circ, \\ 300^\circ < \theta < 360^\circ$$

## 4 角の拡張

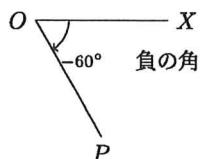
### 4.1 拡張

角を負の世界へ拡張しよう。

平面上で、点  $O$  を中心として半直線  $OP$  を回転させる。

このとき、半直線  $OP$  のことを動径

動径の最初の位置である半直線  $OX$  のことを始線

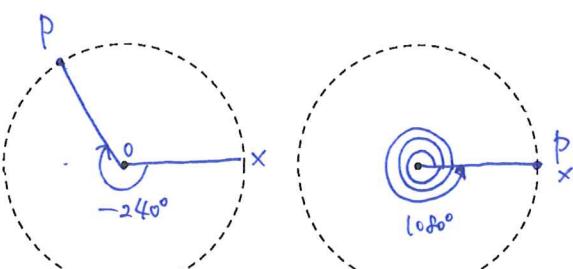
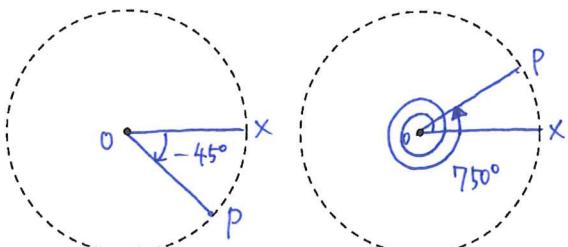
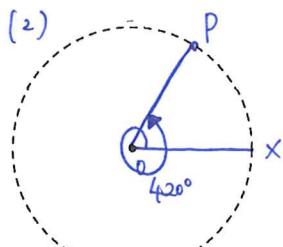
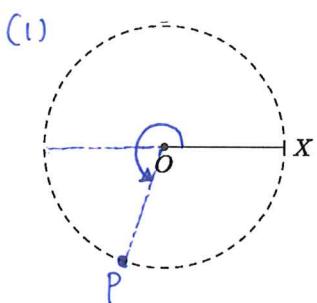


上図のように、反時計回りに測った回転の角を「正の角」  
時計回りに測った回転の角を「負の角」という。

### 問題

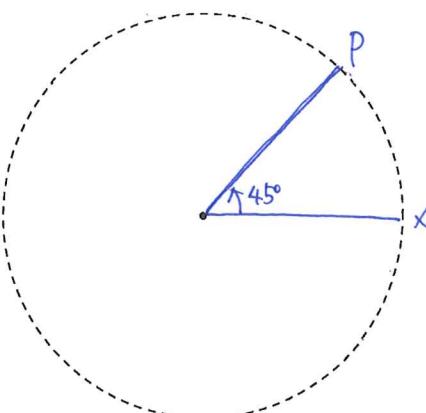
次の動径を図示せよ。

- (1)  $260^\circ$
- (2)  $420^\circ = 360^\circ + 60^\circ$
- (3)  $-45^\circ$
- (4)  $750^\circ = 360^\circ + 360^\circ + 30^\circ$
- (5)  $-240^\circ$
- (6)  $1080^\circ = 360^\circ + 360^\circ + 360^\circ$



### 問題

- (1)  $45^\circ$  の動径と同じ位置にある角度を正、負それぞれ 2 つずつあげよ。



$$45^\circ + 360^\circ = 405^\circ$$

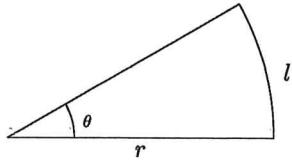
$$45^\circ + 360^\circ + 360^\circ = 765^\circ$$

$$45^\circ - 360^\circ = -315^\circ$$

$$45^\circ - 360^\circ - 360^\circ = -675^\circ$$

角度  $\theta$  に対し動径の位置は、 $360^\circ$ °回転するごとに一致する。

## 4.2 弧度法



定義(弧度法)

半径  $r$ , 弧長  $l$  に対し,

$$\theta = \frac{l}{r} \text{ (rad)}$$

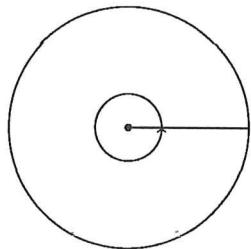
と定義する。

単位(rad)はラジアンと読む。省略することが多い。

ラジアンに円の大きさには関係ないので、半径1で考えると便利である。

例

$360^\circ$  を弧度法で表す。



半径1の円の弧長(円周)は

$2\pi$  なので、

$$360^\circ = 2\pi$$

問題

度数法で表された角度を弧度法で表せ。

(1)  $30^\circ$

$$\times \frac{1}{12} \curvearrowleft 360^\circ = 2\pi \\ 30^\circ = \frac{1}{6}\pi$$

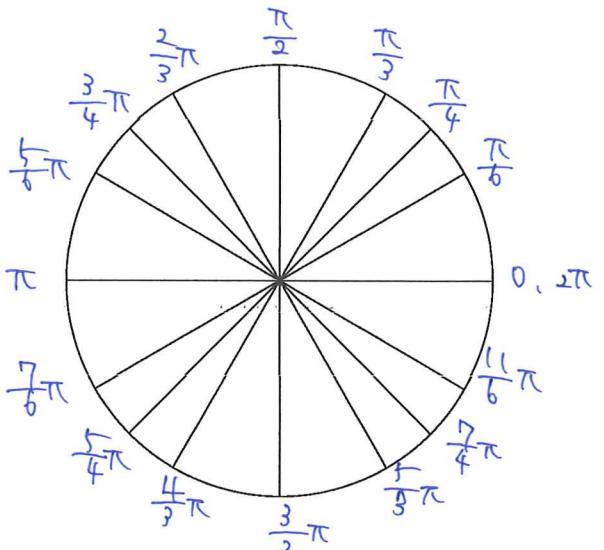
(2)  $120^\circ$

$$\times \frac{1}{3} \curvearrowleft 360^\circ = 2\pi \\ 120^\circ = \frac{2}{3}\pi$$

(3)  $270^\circ$

$$\times \frac{3}{4} \curvearrowleft 360^\circ = 2\pi \\ 270^\circ = \frac{3}{2}\pi$$

下の図に弧度法で角度を書き入れよう。

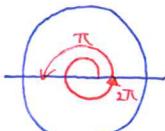


問題

次の角度を  $0 \leq \theta < 2\pi$  の弧度法で表せ。

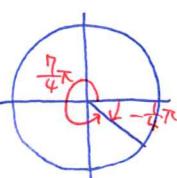
(1)  $3\pi$

$$= 2\pi + \pi$$



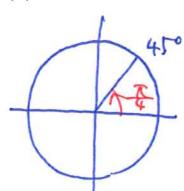
$$\frac{\pi}{4}$$

$$(2) -\frac{1}{4}\pi = \frac{7}{4}\pi - 2\pi$$



$$\frac{7}{4}\pi$$

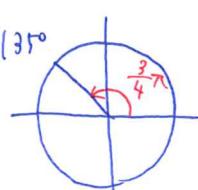
(3)  $45^\circ$



$$\frac{\pi}{4}$$

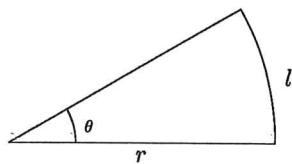
(4)  $495^\circ$

$$= 360^\circ + 135^\circ$$



$$\frac{3}{4}\pi$$

### 4.3 扇形



弧度法の定義より、

$$\theta = \frac{l}{r} \text{ (rad)}$$

なので、

$$\text{弧長 } l = r\theta$$

次に、円の面積  $\pi r^2$  に対して、扇形の面積を考える。

円 1 周  $2\pi$  に対し、扇形は角度  $\theta$  分があるので、

扇形の面積  $S$  は

$$\begin{aligned} S &= \pi r^2 \times \frac{\theta}{2\pi} \\ &= \frac{1}{2} r^2 \theta \end{aligned}$$

#### 問題

以下の扇形の弧長  $l$  と面積  $S$  を求めよ。

- (1) 半径 4, 中心角  $\frac{1}{2}\pi$

$$l = r\theta = 4 \cdot \frac{1}{2}\pi = \underline{\underline{2\pi}}$$

$$S = \frac{1}{2} r^2 \theta = \frac{1}{2} \cdot 4^2 \cdot \frac{1}{2}\pi = \underline{\underline{4\pi}}$$

- (2) 半径 2, 中心角  $\frac{7}{6}\pi$

$$l = r\theta = 2 \cdot \frac{7}{6}\pi = \underline{\underline{\frac{7}{3}\pi}}$$

$$S = \frac{1}{2} r^2 \theta = \frac{1}{2} \cdot 2^2 \cdot \frac{7}{6}\pi = \underline{\underline{\frac{7}{3}\pi}}$$

- (3) 半径 3, 中心角  $\frac{5}{3}\pi$

$$l = r\theta = 3 \cdot \frac{5}{3}\pi = \underline{\underline{5\pi}}$$

$$S = \frac{1}{2} r^2 \theta = \frac{1}{2} \cdot 3^2 \cdot \frac{5}{3}\pi = \underline{\underline{\frac{15}{2}\pi}}$$

## 6 加法定理

### 6.1 計算練習

「 $75^\circ$  の三角比を求めたい。」(←目標)

加法定理

$$\sin(\alpha \pm \beta) = \sin \alpha \cos \beta \pm \cos \alpha \sin \beta$$

$$\cos(\alpha \pm \beta) = \cos \alpha \cos \beta \mp \sin \alpha \sin \beta$$

$$\tan(\alpha \pm \beta) = \frac{\tan \alpha \tan \beta}{1 \mp \tan \alpha \tan \beta}$$

(複号同順)

加法定理を使って  $75^\circ$  の三角比を求めてみよう。

$$75^\circ = 30^\circ + 45^\circ$$

$$\sin 75^\circ = \sin(30^\circ + 45^\circ)$$

$$\begin{aligned} &= \sin 30^\circ \cdot \cos 45^\circ + \cos 30^\circ \cdot \sin 45^\circ \\ &= \frac{1}{2} \cdot \frac{1}{\sqrt{2}} + \frac{\sqrt{3}}{2} \cdot \frac{1}{\sqrt{2}} \\ &= \frac{1 + \sqrt{3}}{2\sqrt{2}} = \frac{\sqrt{2} + \sqrt{6}}{4} \end{aligned}$$

$$\cos 75^\circ = \cos(30^\circ + 45^\circ)$$

$$= \cos 30^\circ \cdot \cos 45^\circ - \sin 30^\circ \cdot \sin 45^\circ$$

$$= \frac{\sqrt{3}}{2} \cdot \frac{1}{\sqrt{2}} - \frac{1}{2} \cdot \frac{1}{\sqrt{2}}$$

$$= \frac{\sqrt{6} - \sqrt{2}}{4}$$

$$\tan 75^\circ = \tan(30^\circ + 45^\circ)$$

$$= \frac{\tan 30^\circ + \tan 45^\circ}{1 - \tan 30^\circ \cdot \tan 45^\circ}$$

$$= \frac{\frac{1}{\sqrt{3}} + 1}{1 - \frac{1}{\sqrt{3}} \cdot 1}$$

$$= \frac{\frac{1}{\sqrt{3}} + 1}{1 - \frac{1}{\sqrt{3}}} = \frac{1 + \sqrt{3}}{\sqrt{3} - 1} = \frac{2 + \sqrt{3}}{4}$$

### 計算練習

(1)  $15^\circ$  の三角比を求めよ。

$$15^\circ = 45^\circ - 30^\circ$$

$$\begin{aligned} \sin 15^\circ &= \sin(45^\circ - 30^\circ) \\ &= \sin 45^\circ \cdot \cos 30^\circ - \cos 45^\circ \cdot \sin 30^\circ \\ &= \frac{1}{\sqrt{2}} \cdot \frac{\sqrt{3}}{2} - \frac{1}{\sqrt{2}} \cdot \frac{1}{2} \\ &= \frac{\sqrt{6} - \sqrt{2}}{4} \end{aligned}$$

$$\cos 15^\circ = \cos(45^\circ - 30^\circ)$$

$$\begin{aligned} &= \cos 45^\circ \cdot \cos 30^\circ + \sin 45^\circ \cdot \sin 30^\circ \\ &= \frac{1}{\sqrt{2}} \cdot \frac{\sqrt{3}}{2} + \frac{1}{\sqrt{2}} \cdot \frac{1}{2} \\ &= \frac{\sqrt{6} + \sqrt{2}}{4} \end{aligned}$$

$$\tan 15^\circ = \frac{\sin 15^\circ}{\cos 15^\circ}$$

$$= \frac{\sqrt{6} - \sqrt{2}}{\sqrt{6} + \sqrt{2}} = \frac{2 - \sqrt{3}}{4}$$

(2)  $\frac{11}{12}\pi$  の三角比を求めよ。

$$\frac{11}{12}\pi = \frac{3}{4}\pi + \frac{1}{6}\pi$$

$$\sin \frac{11}{12}\pi = \sin\left(\frac{3}{4}\pi + \frac{1}{6}\pi\right)$$

$$\begin{aligned} &= \sin \frac{3}{4}\pi \cdot \cos \frac{1}{6}\pi + \cos \frac{3}{4}\pi \cdot \sin \frac{1}{6}\pi \\ &= \frac{1}{\sqrt{2}} \cdot \frac{\sqrt{3}}{2} + \left(-\frac{1}{\sqrt{2}}\right) \cdot \frac{1}{2} \end{aligned}$$

$$= \frac{\sqrt{6} - \sqrt{2}}{4}$$

$$\cos \frac{11}{12}\pi = \cos\left(\frac{3}{4}\pi + \frac{1}{6}\pi\right)$$

$$= \cos \frac{3}{4}\pi \cdot \cos \frac{1}{6}\pi - \sin \frac{3}{4}\pi \cdot \sin \frac{1}{6}\pi$$

$$= -\frac{1}{\sqrt{2}} \cdot \frac{\sqrt{3}}{2} - \frac{1}{\sqrt{2}} \cdot \frac{1}{2}$$

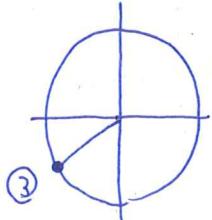
$$= -\frac{\sqrt{6} + \sqrt{2}}{4}$$

$$\tan \frac{11}{12}\pi = \frac{\sin \frac{11}{12}\pi}{\cos \frac{11}{12}\pi}$$

$$= -\frac{\sqrt{6} - \sqrt{2}}{\sqrt{6} + \sqrt{2}} = -\frac{(2 + \sqrt{3})}{4}$$

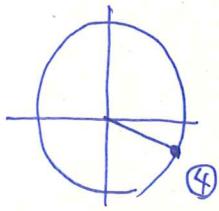
- (3)  $\alpha$  の動径が第3象限,  $\beta$  の動径が第4象限にあり,  
 $\sin \alpha = -\frac{3}{5}$ ,  $\cos \theta = \frac{4}{5}$  のとき, 以下の問いに答えよ.

(a)  $\cos \alpha$  の値を求めよ.



$$\begin{aligned} \alpha^2 \alpha + \alpha^2 \alpha &= 1^2 \\ \alpha^2 \alpha &= \frac{16}{25} \\ \text{左図から, } \cos \alpha &\text{は}\textcircled{3} \\ \therefore \cos \alpha &= -\frac{4}{5} \end{aligned}$$

(b)  $\sin \beta$  の値を求めよ.



$$\begin{aligned} \alpha^2 \beta + \alpha^2 \beta &= 1^2 \\ \alpha^2 \beta &= \frac{9}{25} \\ \text{左図から, } \alpha^2 \beta &\text{は}\textcircled{4} \\ \therefore \alpha^2 \beta &= -\frac{3}{5} \end{aligned}$$

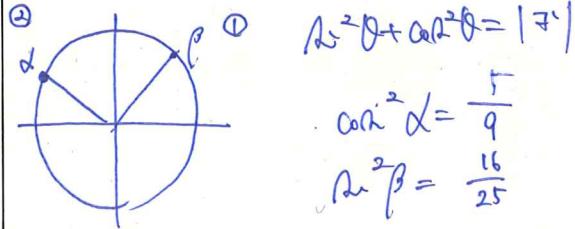
(c)  $\sin(\alpha + \beta)$  の値を求めよ.

$$\begin{aligned} \alpha(\alpha+\beta) &= \alpha \alpha \cos \beta + \alpha \alpha \sin \beta \\ &= -\frac{3}{5} \cdot \frac{4}{5} + \left(-\frac{4}{5}\right) \cdot \left(-\frac{3}{5}\right) \\ &= \underline{\underline{0}} \end{aligned}$$

(d)  $\cos(\alpha - \beta)$  の値を求めよ.

$$\begin{aligned} \alpha(\alpha - \beta) &= \alpha \alpha \cos \beta + \alpha \alpha \sin \beta \\ &= \left(-\frac{4}{5}\right) \cdot \frac{4}{5} + \left(-\frac{3}{5}\right) \cdot \left(-\frac{3}{5}\right) \\ &= \frac{-16}{25} + \frac{9}{25} = \underline{\underline{-\frac{7}{5}}} \end{aligned}$$

- (4)  $\alpha$  の動径が第2象限,  $\beta$  の動径が第1象限にあり,  
 $\sin \alpha = \frac{2}{3}$ ,  $\cos \theta = \frac{3}{5}$  のとき,  $\sin(\alpha - \beta)$ ,  $\cos(\alpha + \beta)$  の値を求めるよ.



$$\begin{aligned} \alpha^2 \alpha + \alpha^2 \alpha &= 1^2 \\ \alpha^2 \alpha &= \frac{5}{9} \\ \alpha^2 \beta &= \frac{16}{25} \end{aligned}$$

左上図から,  $\cos \alpha$  は\textcircled{1},  $\sin \beta$  は\textcircled{2}

$$\therefore \cos \alpha = -\frac{\sqrt{5}}{3}, \alpha^2 \beta = \frac{4}{5}$$

$$\begin{aligned} \alpha(\alpha - \beta) &= \alpha \alpha \cos \beta - \alpha \alpha \sin \beta \\ &= \frac{2}{3} \cdot \frac{3}{5} - \left(-\frac{\sqrt{5}}{3}\right) \cdot \frac{4}{5} \\ &= \frac{6}{15} + \frac{4\sqrt{5}}{15} \\ &= \underline{\underline{\frac{6+4\sqrt{5}}{15}}} \end{aligned}$$

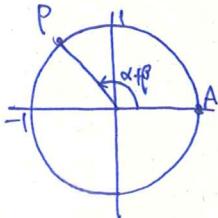
$$\begin{aligned} \alpha(\alpha + \beta) &= \alpha \alpha \cos \beta + \alpha \alpha \sin \beta \\ &= \left(-\frac{\sqrt{5}}{3}\right) \cdot \frac{3}{5} - \frac{2}{3} \cdot \frac{4}{5} \\ &= \frac{-3\sqrt{5}-8}{15} \\ &= \underline{\underline{\frac{-3\sqrt{5}-8}{15}}} \end{aligned}$$

## 6.2 証明

加法定理

&lt; 証明 &gt;

左図に注目せよ。



$A(1,0)$

$P(\cos(\alpha+\beta), \sin(\alpha+\beta))$

左図

$$\begin{aligned} AP^2 &= \sin^2(\alpha+\beta) + (1 - \cos(\alpha+\beta))^2 \\ &= \sin^2(\alpha+\beta) + 1 - 2\cos(\alpha+\beta) + \cos^2(\alpha+\beta) \\ &= 2 - 2\cos(\alpha+\beta) \end{aligned}$$

同様に  $QR^2 = (\cos\alpha, \sin\alpha) \cdot (\cos\beta, \sin\beta)$ 

$R(\cos\beta, \sin(-\beta))$

$\therefore \cos(-\beta) = \cos\beta.$

$\sin(-\beta) = -\sin\beta$

右図

$$\begin{aligned} QR^2 &= (\cos\alpha - \cos\beta)^2 + (\sin\alpha - (-\sin\beta))^2 \\ &= \cos^2\alpha - 2\cos\alpha\cos\beta + \cos^2\beta \\ &\quad + (\sin^2\alpha + 2\sin\alpha\sin\beta + \sin^2\beta) \\ &= 2 - 2\cos\alpha\cos\beta + 2\sin\alpha\sin\beta. \end{aligned}$$

中心角が同じ左図と右図  $AP = QR$ .

$\therefore AP^2 = QR^2$

$2 - 2\cos(\alpha+\beta) = 2 - 2\cos\alpha\cos\beta + 2\sin\alpha\sin\beta$

$\therefore \cos(\alpha+\beta) = \cos\alpha\cos\beta - \sin\alpha\sin\beta$

左図の  $\beta$  を  $-\beta$  とおきなさい。

$$\begin{aligned} \cos(\alpha-\beta) &= \cos\alpha \cdot \cos(-\beta) - \sin\alpha \cdot \sin(-\beta) \\ &= \cos\alpha\cos\beta + \sin\alpha\sin\beta \quad (2) \end{aligned}$$

$\text{左. } \cos\left(\frac{\pi}{2}-\theta\right) = \sin\theta \quad (3)$

(2) の左の式を  $\frac{\pi}{2}-\alpha$  へおきなさい。

$(\text{左}) = \cos\left(\frac{\pi}{2}-\alpha-\beta\right)$

$= \cos\left(\frac{\pi}{2}-(\alpha+\beta)\right)$

$= \sin(\alpha+\beta)$

$(\text{左}) = \cos\left(\frac{\pi}{2}-\alpha\right) \cdot \cos\beta + \sin\left(\frac{\pi}{2}-\alpha\right) \cdot \sin\beta$

$= \sin\alpha\cos\beta + \cos\alpha\sin\beta.$

$\therefore \sin(\alpha+\beta) = \sin\alpha\cos\beta + \cos\alpha\sin\beta \quad (1)$

左図の  $\beta$  を  $-\beta$  とおきなさい。

$$\begin{aligned} \sin(\alpha-\beta) &= \sin\alpha\cos(-\beta) + \cos\alpha\sin(-\beta) \\ &= \sin\alpha\cos\beta - \cos\alpha\sin\beta \quad (1) \end{aligned}$$

$\text{左. } \tan\theta = \frac{\sin\theta}{\cos\theta} \quad (3)$

$\tan(\alpha+\beta) = \frac{\sin(\alpha+\beta)}{\cos(\alpha+\beta)}$

$= \frac{\sin\alpha\cos\beta + \cos\alpha\sin\beta}{\cos\alpha\cos\beta - \sin\alpha\sin\beta}$

右図の  $\cos\alpha\cos\beta$  を  $\cos\alpha\cos\beta$  とおきなさい。

$$\begin{aligned} (\text{右}) &= \frac{\frac{\sin\alpha\cos\beta}{\cos\alpha\cos\beta} + \frac{\cos\alpha\sin\beta}{\cos\alpha\cos\beta}}{\frac{\cos\alpha\cos\beta}{\cos\alpha\cos\beta} - \frac{\sin\alpha\sin\beta}{\cos\alpha\cos\beta}} \\ &= \frac{\tan\alpha + \tan\beta}{1 - \tan\alpha\tan\beta} \end{aligned}$$

$\therefore \tan(\alpha+\beta) = \frac{\tan\alpha + \tan\beta}{1 - \tan\alpha\tan\beta}$

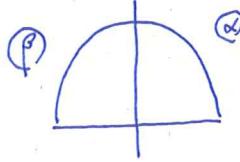
左図の  $\beta$  を  $-\beta$  とおきなさい。

$\tan(\alpha-\beta) = \frac{\tan\alpha + \tan(-\beta)}{1 - \tan\alpha\tan(-\beta)}$

$= \frac{\tan\alpha - \tan\beta}{1 + \tan\alpha\tan\beta} \quad (3)$

## 6.3 演習

(1)  $\sin \alpha = \frac{3}{5}$  ( $0 < \alpha < \frac{\pi}{2}$ ),  $\cos \beta = -\frac{4}{5}$  ( $\frac{\pi}{2} < \beta < \pi$ ) のとき,  $\sin(\alpha + \beta)$ ,  $\cos(\alpha - \beta)$ ,  $\tan(\alpha - \beta)$  の値を求めよ.



$$\sin^2 \alpha + \cos^2 \alpha = 1 \quad (2)$$

$$\cos^2 \alpha = \frac{16}{25}$$

$$\cos^2 \beta = \frac{9}{25}$$

上図(2)  $\cos \alpha > 0$ ,  $\cos \beta < 0$

$$\therefore \cos \alpha = \frac{4}{5}, \quad \cos \beta = -\frac{3}{5}$$

$$\begin{aligned} \sin(\alpha + \beta) &= \sin \alpha \cos \beta + \cos \alpha \sin \beta \\ &= \frac{3}{5} \cdot \left(-\frac{4}{5}\right) + \frac{4}{5} \cdot \frac{3}{5} \\ &= 0 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \cos(\alpha - \beta) &= \cos \alpha \cos \beta + \sin \alpha \sin \beta \\ &= \frac{4}{5} \cdot \left(-\frac{4}{5}\right) + \frac{3}{5} \cdot \frac{3}{5} \\ &= -\frac{7}{25} \end{aligned}$$

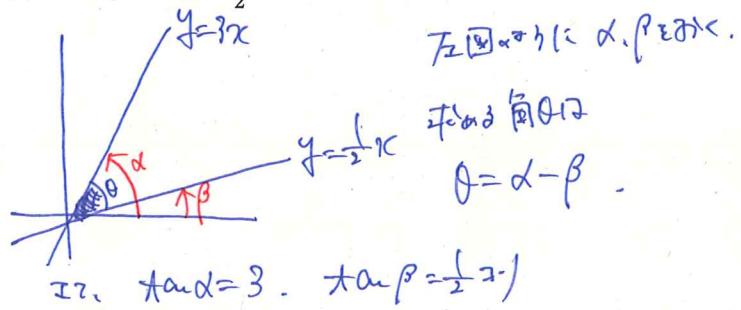
$$\tan(\alpha - \beta) = \frac{\tan \alpha - \tan \beta}{1 + \tan \alpha \tan \beta}$$

$$\therefore \tan \alpha = \frac{3}{4}, \quad \tan \beta = -\frac{3}{4}$$

$$\begin{aligned} \tan(\alpha - \beta) &= \frac{\frac{3}{4} - \left(-\frac{3}{4}\right)}{1 + \frac{3}{4} \cdot \left(-\frac{3}{4}\right)} \\ &= \frac{\frac{6}{4}}{\left(-\frac{9}{16}\right)} = \frac{\frac{6}{4}}{-\frac{9}{16}} \\ &= \frac{6 \cdot 16}{7 \cdot 4} = \frac{24}{9} \end{aligned}$$

上図(2)  $\tan \alpha > 0$ ,  $\tan \beta < 0$

(2) 2直線  $y = 3x$ ,  $y = \frac{1}{2}x$  のなす鋭角を求めよ.



$$\therefore \tan \alpha = 3, \quad \tan \beta = \frac{1}{2}$$

$$\tan \theta = \tan(\alpha - \beta)$$

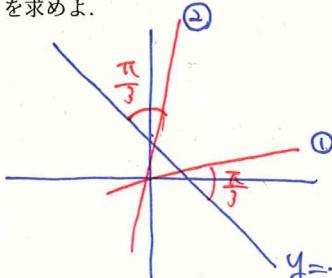
$$= \frac{\tan \alpha - \tan \beta}{1 + \tan \alpha \tan \beta}$$

$$= \frac{3 - \frac{1}{2}}{1 + 3 \cdot \frac{1}{2}} = 1$$

$$\tan \theta = 1, \quad \theta = \text{鋭角} 45^\circ$$

$$\theta = \frac{\pi}{4}$$

(3) 原点を通り, 直線  $y = -x + 1$  と  $\frac{1}{3}\pi$  の角をなす直線の方程式を求めよ.



$$\text{①} \Rightarrow \text{y軸となす角は } \frac{\pi}{3} - \frac{\pi}{4} = \frac{1}{6}\pi.$$

$$\text{②} \Rightarrow \frac{3}{4}\pi - \frac{1}{3}\pi = \frac{5}{12}\pi.$$

∴ 2本の直線の傾きは.

$$\text{① } \tan \frac{1}{6}\pi = \frac{\tan \frac{\pi}{3} - \tan \frac{\pi}{4}}{1 + \tan \frac{\pi}{3} \cdot \tan \frac{\pi}{4}}$$

$$= \frac{\sqrt{3} - 1}{1 + \sqrt{3}} = 2 - \sqrt{3}$$

$$\text{② } \tan \frac{5}{12}\pi = \frac{\tan \frac{3}{4}\pi - \tan \frac{\pi}{3}}{1 + \tan \frac{3}{4}\pi \cdot \tan \frac{\pi}{3}}$$

$$= \frac{-1 - \sqrt{3}}{1 - \sqrt{3}} = 2 + \sqrt{3}$$

2本の直線の傾き

$$y = (2 - \sqrt{3})x, \quad y = (2 + \sqrt{3})x$$

## 7 加法定理の応用

### 7.1 復習

加法定理を思い出す。

$$(1) \sin(\alpha + \beta)$$

$$= \sin \alpha \cos \beta + \cos \alpha \sin \beta$$

$$(2) \sin(\alpha - \beta)$$

$$= \sin \alpha \cos \beta - \cos \alpha \sin \beta$$

$$(3) \cos(\alpha + \beta)$$

$$= \cos \alpha \cos \beta - \sin \alpha \sin \beta$$

$$(4) \cos(\alpha - \beta)$$

$$= \cos \alpha \cos \beta + \sin \alpha \sin \beta$$

$$(5) \tan(\alpha + \beta)$$

$$= \frac{\tan \alpha + \tan \beta}{1 - \tan \alpha \tan \beta}$$

$$(6) \tan(\alpha - \beta)$$

$$= \frac{\tan \alpha - \tan \beta}{1 + \tan \alpha \tan \beta}$$

計算練習

$$(1) \sin\left(\frac{1}{3}\pi + \frac{1}{4}\pi\right)$$

$$= \sin \frac{1}{3}\pi \cdot \cos \frac{1}{4}\pi + \cos \frac{1}{3}\pi \cdot \sin \frac{1}{4}\pi$$

$$= \frac{\sqrt{3}}{2} \cdot \frac{1}{\sqrt{2}} + \frac{1}{2} \cdot \frac{1}{\sqrt{2}}$$

$$= \frac{\sqrt{6} + \sqrt{2}}{4}$$

$$(2) \cos\left(\frac{1}{12}\pi\right)$$

$$\frac{1}{12}\pi = \frac{1}{3}\pi - \frac{1}{4}\pi$$

$$= \cos\left(\frac{1}{3}\pi - \frac{1}{4}\pi\right)$$

$$= \cos \frac{1}{3}\pi \cdot \cos \frac{1}{4}\pi + \sin \frac{1}{3}\pi \cdot \sin \frac{1}{4}\pi$$

$$= \frac{1}{2} \cdot \frac{1}{\sqrt{2}} + \frac{\sqrt{3}}{2} \cdot \frac{1}{\sqrt{2}}$$

$$= \frac{\sqrt{6} + \sqrt{2}}{4}$$

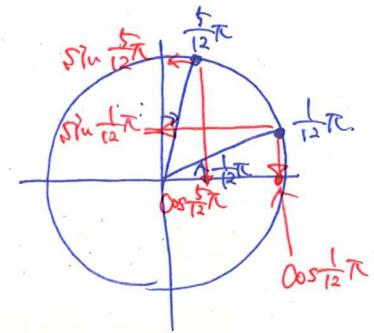
$$(3) \sin\left(\frac{1}{12}\pi\right)$$

$$= \sin\left(\frac{1}{3}\pi - \frac{1}{4}\pi\right)$$

$$= \sin \frac{1}{3}\pi \cdot \cos \frac{1}{4}\pi - \cos \frac{1}{3}\pi \cdot \sin \frac{1}{4}\pi$$

$$= \frac{\sqrt{3}}{2} \cdot \frac{1}{\sqrt{2}} - \frac{1}{2} \cdot \frac{1}{\sqrt{2}}$$

$$= \frac{\sqrt{6} - \sqrt{2}}{4}$$



$$(4) \sin\left(\frac{5}{12}\pi\right)$$

$$= \cos \frac{1}{12}\pi$$

$$= \frac{\sqrt{6} + \sqrt{2}}{4}$$

$$(5) \cos\left(\frac{5}{12}\pi\right)$$

$$= \sin \frac{1}{12}\pi$$

$$= \frac{\sqrt{6} - \sqrt{2}}{4}$$

$$(6) \tan\left(\frac{5}{12}\pi\right)$$

$$= \frac{\sin \frac{5}{12}\pi}{\cos \frac{5}{12}\pi}$$

$$= \frac{\sqrt{6} + \sqrt{2}}{\sqrt{6} - \sqrt{2}} = \frac{\sqrt{2}(\sqrt{3}+1)}{\sqrt{2}(\sqrt{3}-1)}$$

$$= \frac{2+\sqrt{3}}{4}$$

$$\textcircled{B} \quad \sin(\alpha+\beta) = \sin\alpha\cos\beta + \cos\alpha\sin\beta$$

$$\cos(\alpha+\beta) = \cos\alpha\cos\beta - \sin\alpha\sin\beta$$

$$\tan(\alpha+\beta) = \frac{\tan\alpha + \tan\beta}{1 - \tan\alpha\tan\beta}$$

## 7.2 2倍角

考える

$2\alpha = \alpha + \alpha$  と考えることで、 $2\alpha$  の三角比を考える。

(1)  $\sin(\alpha + \alpha)$  を  $\alpha$  の三角比で表そう。

$$= \sin\alpha\cos\alpha + \cos\alpha\sin\alpha$$

$$= \underline{2\sin\alpha\cos\alpha}$$

(2)  $\cos(\alpha + \alpha)$  を  $\alpha$  の三角比で表そう。

$$= \cos\alpha\cos\alpha - \sin\alpha\sin\alpha$$

$$= \underline{\cos^2\alpha - \sin^2\alpha}$$

(3)  $\cos(\alpha + \alpha)$  を  $\sin\alpha$  で表そう。

$$= \cos\alpha\cos\alpha - \sin\alpha\sin\alpha$$

$$= (1 - \sin^2\alpha) - \sin^2\alpha$$

$$= \underline{1 - 2\sin^2\alpha}$$

(4)  $\cos(\alpha + \alpha)$  を  $\cos\alpha$  で表そう。

$$= \cos\alpha\cos\alpha - \sin\alpha\sin\alpha$$

$$= \cos\alpha\cos\alpha - (1 - \cos^2\alpha)$$

$$= \underline{2\cos^2\alpha - 1}$$

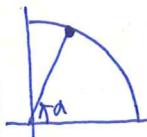
(5)  $\tan(\alpha + \alpha)$  を  $\tan\alpha$  で表そう。

$$= \frac{\tan\alpha + \tan\alpha}{1 - \tan\alpha\tan\alpha}$$

$$= \underline{\frac{2\tan\alpha}{1 - \tan^2\alpha}}$$

練習問題

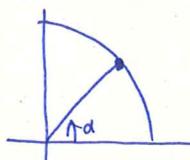
(1)  $0 < \alpha < \frac{\pi}{2}$  で、 $\sin\alpha = \frac{4}{5}$  のとき、 $\sin 2\alpha$  の値を求めよ。



$$\begin{aligned} \sin^2\alpha + \cos^2\alpha &= 1 \\ \cos^2\alpha &= 1 - \frac{16}{25} = \frac{9}{25} \\ \cos\alpha &= \frac{3}{5} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \sin 2\alpha &= 2\sin\alpha\cos\alpha \\ &= 2 \cdot \frac{4}{5} \cdot \frac{3}{5} = \underline{\frac{24}{25}} \end{aligned}$$

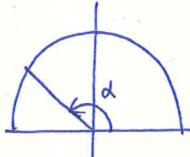
(2)  $0 < \alpha < \frac{\pi}{2}$  で、 $\sin\alpha = \frac{3}{5}$  のとき、 $\cos 2\alpha$  の値を求めよ。



$$\begin{aligned} \sin^2\alpha + \cos^2\alpha &= 1 \\ \cos^2\alpha &= 1 - \frac{9}{25} = \frac{16}{25} \\ \cos\alpha &= \frac{4}{5} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \cos 2\alpha &= 2\cos^2\alpha - 1 \\ &= 2 \cdot \frac{16}{25} - 1 = \underline{\frac{7}{25}} \end{aligned}$$

(3)  $\frac{\pi}{2} < \alpha < \pi$  で、 $\cos\alpha = -\frac{\sqrt{5}}{3}$  のとき、 $\sin 2\alpha, \cos 2\alpha, \tan 2\alpha$  の値を求めよ。



$$\begin{aligned} \sin^2\alpha + \cos^2\alpha &= 1 \\ \sin^2\alpha &= 1 - \left(-\frac{\sqrt{5}}{3}\right)^2 = \frac{4}{9} \\ \sin\alpha &= \frac{2}{3} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \sin 2\alpha &= 2\sin\alpha\cos\alpha \\ &= 2 \cdot \frac{2}{3} \cdot -\frac{\sqrt{5}}{3} = \underline{-\frac{4\sqrt{5}}{9}} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \cos 2\alpha &= \cos^2\alpha - \sin^2\alpha \\ &= \frac{5}{9} - \frac{4}{9} = \underline{\frac{1}{9}} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \tan 2\alpha &= \frac{\sin 2\alpha}{\cos 2\alpha} \\ &= \frac{-\frac{4\sqrt{5}}{9}}{\frac{1}{9}} = \underline{-4\sqrt{5}} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{加法定理} \\ \cos(\theta+\theta) &= \cos\theta \cdot \cos\theta - \sin\theta \cdot \sin\theta \\ &= \cos^2\theta - \sin^2\theta \end{aligned}$$

$$\sin^2\theta + \cos^2\theta = 1 \Rightarrow \cos^2\theta = 1 - \sin^2\theta.$$

$$\therefore \sin^2\theta = 1 - \cos^2\theta.$$

### 7.3 半角

$$\cos 2\theta = 1 - 2\sin^2\theta, \quad \cos 2\theta = 2\cos^2\theta - 1$$

を式変形して、

$$\sin^2\theta = \frac{1 - \cos 2\theta}{2}, \quad \cos^2\theta = \frac{1 + \cos 2\theta}{2}$$

また、

$$\tan^2\theta = \frac{1 - \cos 2\theta}{1 + \cos 2\theta}$$

$\theta$  を  $\frac{\theta}{2}$  に置き換えて、

半角

$$\sin^2\frac{\theta}{2} = \frac{1 - \cos\theta}{2}$$

$$\cos^2\frac{\theta}{2} = \frac{1 + \cos\theta}{2}$$

$$\tan^2\frac{\theta}{2} = \frac{1 - \cos\theta}{1 + \cos\theta}$$

練習

(1)  $\cos\frac{\pi}{8}$  の値を求めよ。

$$\cos 2\theta = 2\cos^2\theta - 1 \quad \text{∴}$$

$$\cos\frac{1}{4}\pi = 2\cos^2\frac{1}{8}\pi - 1.$$

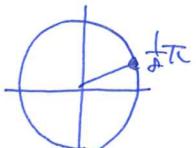
$$\frac{1}{\sqrt{2}} = 2\cos^2\frac{1}{8}\pi - 1$$

$$2\cos^2\frac{1}{8}\pi = \frac{1}{\sqrt{2}} + 1.$$

$$= \frac{1 + \sqrt{2}}{\sqrt{2}}$$

$$= \frac{\sqrt{2} + 2}{2}$$

$$\therefore \cos^2\frac{1}{8}\pi = \frac{2 + \sqrt{2}}{4}$$



左図より  
 $\cos\frac{1}{8}\pi > 0$  である。

$$\cos\frac{1}{8}\pi = \sqrt{\frac{2 + \sqrt{2}}{4}}$$

$$= \frac{\sqrt{2 + \sqrt{2}}}{2}$$

4

(2)  $\sin\frac{\pi}{8}$  の値を求めよ。

$$\cos 2\theta = (-2\sin^2\theta)^{-1}$$

$$\cos\frac{1}{4}\pi = (-2\sin^2\frac{1}{8}\pi)^{-1}$$

$$\frac{1}{\sqrt{2}} = (-2\sin^2\frac{1}{8}\pi)^{-1}$$

$$2\sin^2\frac{1}{8}\pi = (-\frac{1}{\sqrt{2}})^{-1} \\ = \frac{\sqrt{2} - 1}{\sqrt{2}}$$

$$\text{左下図より} \quad \therefore \sin^2\frac{1}{8}\pi = \frac{2 - \sqrt{2}}{4}$$

$$\sin\frac{1}{8}\pi = \frac{\sqrt{2 - \sqrt{2}}}{2}$$

(3)  $\cos\frac{3\pi}{8}$  の値を求めよ。

(1) 同様に、

$$\cos\frac{3}{4}\pi = 2\cos^2\frac{3}{8}\pi - 1.$$

$$2\cos^2\frac{3}{8}\pi = 1 - \frac{1}{\sqrt{2}}$$

$$\cos^2\frac{3}{8}\pi = \frac{2 - \sqrt{2}}{4}$$

左図より  $\cos\frac{3}{8}\pi > 0$ .

$$\therefore \cos\frac{3}{8}\pi = \frac{\sqrt{2 - \sqrt{2}}}{2}.$$

(4)  $\tan\frac{3\pi}{8}$  の値を求めよ。

$$\text{同様に} \quad \tan\frac{3}{8}\pi = \frac{\sqrt{2 + \sqrt{2}}}{2}$$

$$\tan\frac{3}{8}\pi = \frac{\sin\frac{3}{8}\pi}{\cos\frac{3}{8}\pi}$$

$$= \frac{\sqrt{2 + \sqrt{2}}}{\sqrt{2 - \sqrt{2}}} \times \frac{\sqrt{2 + \sqrt{2}}}{\sqrt{2 + \sqrt{2}}}$$

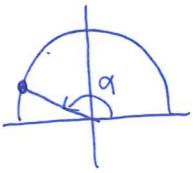
$$= \frac{2 + \sqrt{2}}{\sqrt{4 - 2}}$$

$$= \frac{2 + \sqrt{2}}{\sqrt{2}}$$

$$= \frac{\sqrt{2 + 1}}{4}$$

練習

(1)  $\frac{\pi}{2} < \alpha < \pi$  のとき,  $\cos \alpha = -\frac{4}{5}$  のとき,  $\cos \frac{\alpha}{2}$  の値を求めよ.



$$\cos 2\theta = 2\cos^2 \theta - 1. \quad (2)$$

$$\cos \alpha = 2\cos^2 \frac{\alpha}{2} - 1.$$

$$2\cos^2 \frac{\alpha}{2} = \cos \alpha + 1.$$

$$\cos^2 \frac{\alpha}{2} = \frac{\cos \alpha + 1}{2}$$

$$= \frac{-\frac{4}{5} + 1}{2}$$

$$= \frac{\frac{1}{5}}{2}$$

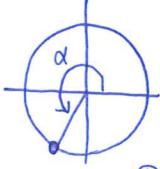
$$= \frac{1}{10}$$

左上図(2).

$$\cos \frac{\alpha}{2} < 0.$$

$$\therefore \cos \frac{\alpha}{2} = -\frac{1}{\sqrt{10}}$$

(2)  $\pi < \alpha < \frac{3\pi}{2}$  のとき,  $\cos \alpha = -\frac{1}{4}$  のとき,  $\sin \frac{\alpha}{2}, \cos \frac{\alpha}{2}, \tan \frac{\alpha}{2}$  の値を求めよ.



(2)

$$\cos 2\theta = 1 - 2\sin^2 \theta \quad (1)$$

$$\cos 2\theta = 2\cos^2 \theta - 1.$$

$$\cos \alpha = 1 - 2\sin^2 \frac{\alpha}{2}$$

$$-\frac{1}{4} = 1 - 2\sin^2 \frac{\alpha}{2}$$

$$-\frac{1}{4} = -2\sin^2 \frac{\alpha}{2}$$

$$\sin^2 \frac{\alpha}{2} = \frac{5}{8}$$

左上図(2)  $\sin \frac{\alpha}{2} < 0$

$$\therefore \sin \frac{\alpha}{2} = -\frac{\sqrt{10}}{2\sqrt{2}}$$

$$= -\frac{\sqrt{5}}{4}$$

$$\sin^2 \frac{\alpha}{2} + \cos^2 \frac{\alpha}{2} = 1 \quad (2)$$

$$\frac{10}{16} + \cos^2 \frac{\alpha}{2} = 1$$

$$\cos^2 \frac{\alpha}{2} = \frac{6}{16}$$

左上図(2)  $\cos \frac{\alpha}{2} < 0$

$$\therefore \cos \frac{\alpha}{2} = -\frac{\sqrt{6}}{4}$$

$$\tan \frac{\alpha}{2} = \frac{\sin \frac{\alpha}{2}}{\cos \frac{\alpha}{2}} \quad (2)$$

$$\tan \frac{\alpha}{2} = \frac{-\frac{\sqrt{10}}{4}}{-\frac{\sqrt{6}}{4}} = -\frac{\sqrt{15}}{\sqrt{3}}$$

$$= -\frac{\sqrt{15}}{3}$$

加法定理

$$\sin(\alpha + \beta) = \sin\alpha \cos\beta + \cos\alpha \sin\beta$$

## 8 三角関数の合成

問題

以下の方程式を解け。 ( $0 \leq \theta < 2\pi$ )

$$\sqrt{3} \sin x + \cos x = 1$$

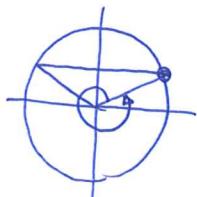
$$2 \left( \frac{\sqrt{3}}{2} \sin x + \frac{1}{2} \cos x \right) = 1.$$

$$\frac{\sqrt{3}}{2} \sin x + \frac{1}{2} \cos x = \frac{1}{2}$$

$$\cos \frac{1}{6}\pi \cdot \sin x + \sin \frac{1}{6}\pi \cdot \cos x = \frac{1}{2}$$

$$\sin x \cdot \cos \frac{1}{6}\pi + \cos x \cdot \sin \frac{1}{6}\pi = \frac{1}{2}$$

$$\sin(x + \frac{1}{6}\pi) = \frac{1}{2}$$



左図(1)

$$\theta = 0, \frac{2}{3}\pi$$

加法定理

最後の「加法定理」を用いて解け。  
(2つの  $\frac{\sqrt{3}}{2}, \frac{1}{2}$  を作り出す)。

左図(1)

$$0 \leq \theta \leq \frac{1}{2}\pi,$$

$$\frac{7}{6}\pi \leq \theta < 2\pi$$

4

<解>

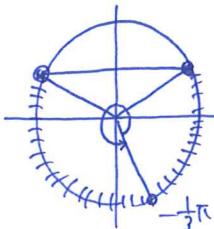
$$2 \left( \frac{1}{2} \sin x - \frac{\sqrt{3}}{2} \cos x \right) \leq 1.$$

$$\frac{1}{2} \sin x - \frac{\sqrt{3}}{2} \cos x \leq \frac{1}{2}$$

$$\sin x \cdot \left(\frac{1}{2}\right) - \cos x \cdot \left(\frac{\sqrt{3}}{2}\right) \leq \frac{1}{2}$$

$$\sin x \cdot \cos \frac{1}{3}\pi - \cos x \cdot \sin \frac{1}{3}\pi \leq \frac{1}{2}$$

$$\sin(x - \frac{1}{3}\pi) \leq \frac{1}{2}$$



左図(1)

$$0 \leq \theta \leq \frac{1}{2}\pi,$$

$$\frac{7}{6}\pi \leq \theta < 2\pi$$

4

スタート地点からの距離を計算する  
計算ミス三戒?

$0 \leq \theta < 2\pi$  のとき、以下の方程式を解け。

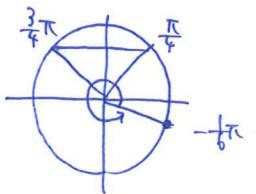
$$(1) \sqrt{3}\sin x - \cos x = \sqrt{2}$$

$$2 \left( \frac{\sqrt{3}}{2} \sin x - \frac{1}{2} \cos x \right) = \sqrt{2}$$

$$\frac{\sqrt{3}}{2} \sin x - \frac{1}{2} \cos x = \frac{1}{\sqrt{2}}$$

$$\sin x \cdot \cos \frac{1}{6}\pi - \cos x \cdot \sin \frac{1}{6}\pi = \frac{1}{\sqrt{2}}$$

$$\sin \left( x - \frac{1}{6}\pi \right) = \frac{1}{\sqrt{2}}$$



左図①

$$\theta = \frac{\pi}{6} + \frac{\pi}{4}, \frac{\pi}{6} + \frac{3}{4}\pi \\ = \frac{5}{12}\pi, \frac{11}{12}\pi$$

4

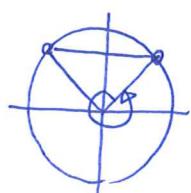
$$(2) \sin x + \cos x = 1$$

$$\sqrt{2} \left( \frac{1}{\sqrt{2}} \sin x + \frac{1}{\sqrt{2}} \cos x \right) = 1$$

$$\frac{1}{\sqrt{2}} \sin x + \frac{1}{\sqrt{2}} \cos x = \frac{1}{\sqrt{2}}$$

$$\sin x \cdot \cos \frac{1}{4}\pi + \cos x \cdot \sin \frac{1}{4}\pi = \frac{1}{\sqrt{2}}$$

$$\sin \left( x + \frac{1}{4}\pi \right) = \frac{1}{\sqrt{2}}$$



左図②

$$\theta = 0, \frac{1}{2}\pi$$

4

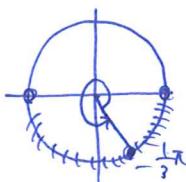
$$(3) \sin x - \sqrt{3} \cos x \leq 0$$

$$2 \left( \frac{1}{2} \sin x - \frac{\sqrt{3}}{2} \cos x \right) \leq 0$$

$$\frac{1}{2} \sin x - \frac{\sqrt{3}}{2} \cos x \leq 0$$

$$\sin x \cdot \cos \frac{\pi}{3} - \cos x \cdot \sin \frac{1}{3}\pi \leq 0$$

$$\sin \left( x - \frac{1}{3}\pi \right) \leq 0$$



左図③

$$0 \leq \theta \leq \frac{1}{3}\pi, \frac{4}{3}\pi \leq \theta < 2\pi$$

4

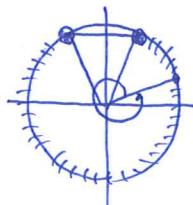
$$(4) \sqrt{3} \sin x + \cos x \leq \sqrt{3}$$

$$2 \left( \frac{\sqrt{3}}{2} \sin x + \frac{1}{2} \cos x \right) \leq \sqrt{3}$$

$$\frac{\sqrt{3}}{2} \sin x + \frac{1}{2} \cos x \leq \frac{\sqrt{3}}{2}$$

$$\sin x \cdot \cos \frac{1}{6}\pi + \cos x \cdot \sin \frac{1}{6}\pi \leq \frac{\sqrt{3}}{2}$$

$$\sin \left( x + \frac{1}{6}\pi \right) \leq \frac{\sqrt{3}}{2}$$



左図④

$$0 \leq \theta \leq \frac{1}{6}\pi, \frac{\pi}{2} \leq \theta < 2\pi$$

4